

令和7年度 第2回梅坪台地域会議 会議録

■ 日 時 令和7年6月10日（火） 午後7時～午後8時15分

■ 場 所 梅坪台交流館 2階 大会議室

■ 出席者

<委員>	岩崎 洋平	岩松 初男	川井 圭子
	鈴木 重久	鎮西 和也	長江 秀昭
	三岡 英隆	山村 史子	依田 武人

<交流館> 杉山 浩子（梅坪台交流館 館長）

<事務局> 塚田 征弘（地域交流課 副課長）

槌井 功二（地域交流課 担当長） 勝野 一城（地域交流課 主査）

■ 内 容

1 開会

2 会長あいさつ

3 報告・協議事項

（1）地区コミュニティ会議関係について（報告）

（2）地域課題について（協議）

①意見交換（ヒアリング）内容について

②意見交換（ヒアリング）の進め方について

4 連絡事項

・会議の開催案内について

・梅坪台地域健康づくり事業周知チラシについて

■ 議事内容（要約）

2 あいさつ

・鈴木会長あいさつ

3 （1）地区コミュニティ会議関係について（報告）

・鈴木会長から以下のとおり報告

・6月7日、梅坪台中学校の梅の収穫、46袋収穫があった

・11月2日（日）ふれあいまつり、令和8年の1月11日（日）二十歳のつどいなどの行事の実施スケジュールの説明

3 （2）地域課題について（協議）

① 意見交換（ヒアリング）内容について

・事前説明資料の確認について事務局から説明

② 地域会議委員試案について

・二人の委員からそれぞれ発表

<主な意見>

■ 事前説明資料の確認について

- ・相手に事前に質問票を記載して返却いただいた後、改めてヒアリングを実施するということが。
- 唐突にヒアリングを実施しても効果的に聞けないため、質問票、昨年の協議・検討経過を資料として示し、各団体に聞き取る際の基本的な共通項目と考えている。
- ・事前資料の目指すべき姿と運営の課題は、一緒に書いた方がわかりやすい。
- ・アンケート資料に子どもたちが不法投棄パトロール、区民会館の掃除をすると記載しており、非常に素晴らしいこと。60年前の自分の経験で道掃除をやったことが今、活かしている。子どもの将来に繋がる活動なので、是非、継続するよう自治区の役員に伝えていただきたい。

■ 地域会議委員の試案について

- ・試案を検討するにあたり、子ども会が検討の中に入っていないが、途中経過の情報提供も含め、確認しながら進める必要があると思う。
- ・試案は、素晴らしいが地域学校共働本部が事務局を担えない場合にどうするか、また負担も大きいので協議が必要と思う。
- ・地域学校共働本部が毎年、小学校4年生と高齢者を集めて昔の話、節句に「おこしもの」を作った話や昔遊びを教え、反対に子どもが劇をやると高齢者が生き生きとする。こういった活動は、子ども会、自治区のどちらでもいいので、やった方がいい。
- ・試案は素晴らしいがきちんと組織化するのは、なかなか困難だと思う。
- ・地域学校共働本部、コミュニティ会議の何れかが事務局であればいい。サポーターは、自治区からの評議員だと毎年変わってしまうため、意識の高い継続性のある人にやってほしい。また、他の年代にも展開できるとよい。
- ・地域学校共働本部は、教育委員会も関わるため、子ども会加入の有無によらず、子どもはすべて平等に扱わないといけない。また、子どもの情報管理がきちんとするので、安心だと思う。
- ・活動の企画の単位は、中学校単位より自治区単位で実施したほうがいい。
- ・子ども会の存続というよりも子どもと地域のつながりを維持することが目的。もし子ども会が無くなってもつながりを支えるものがあるという形がいい。
- ・コミュニティ会議の委員は、1~2年の任期なので、サポーターとの連携をうまくすることで、継続性が保たれるのではないかと。
- ・本来、子どもたちの会であり、子どもが主体でやるのが理想。親の都合で子ども会活動をやめている状況のため、子どもが主体となった本来の活動の形に戻るべきだと思う。

■ ヒアリング先について

- ・学校関係者については、地域学校共働本部から事前に打診をしてはどうか。自治区の三役もいきなりヒアリングでは、困惑されるので、話し合いの状況説明を事前にしてヒアリングを

実施した方がよい。コミュニティ会議も同様。ヒアリング自体は、全体の実施でよいと思う。

- ・自治区では、子ども会に任せている感覚だと思うので、窮状の認識が薄い場合もある。子ども会役員にもできれば同席いただいて、子ども会を置き去りしないようにしないといけない。
 - ・本当に地域学校共働本部を事務局にできるのか条件を確認しておく必要がある。一つずつぶしていく必要があるのではないか。
 - ・試案については、学校の校長先生、教頭先生に一度、確認してみる。この案は、梅坪台地域だけだと思うので、教育委員会への協議もチャレンジしてみたい。
 - ・子ども会の会長、副会長など一部の役員が大変なだけなので、地域学校共働本部が保護者抜きで事業を進めるのは、問題があると思う。
 - ・地域学校共働本部の事務局が断られた場合は、有償ボランティアの費用負担を地域交流課で予算化できるか。また、提言は、いつまでにしなければならないか。
- 人件費の予算化は、原則できない。提言もいつまでにしなければならないという決まりはない。

<決定事項と次回に向けた課題について>

- ・委員の試案を基本に具体的に地域会議（案）として、進めることで合意した。
- ・前段として地域学校共働本部を事務局として置くことが可能か、まず、学校関係者に相談し、その結果を事務局に連絡。
- ・了承が得られれば、次のステップとして、自治区三役、サポーターの協議、コミュニティ会議に協力依頼の説明を進める。

4 連絡事項

■会議の開催案内について

- ・委員のご了解がいただければ、会議の開催通知を LINE 若しくはメールにさせていただきます。
- 梅坪台地域健康づくり事業について
 - ・梅坪台地域健康づくり事業スタンプラリーの自治区周知用の回覧チラシ（案）を作成した。

■ 今後の予定

令和7年度 第3回梅坪台地域会議

7月8日（火）午後7時～梅坪台交流館大会議室にて